

令和5年 第12回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

令和5年12月20日 開会

令和5年12月20日 閉会

岩見沢市教育委員会

令和5年 第12回定例会

岩見沢市教育委員会会議録

(令和5年12月20日)

○本委員会に付議した議件

- 1 報告第18号 教育長の一般経過報告について
- 2 協議 1 0 令和6年度教育委員会関係予算見積り状況について
- 2 協議 1 1 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について

そ の 他

○本委員会に出席した者

教 育 長	吉 永	洋
委 員	田 中	佳 樹
委 員	菊 池	亜 希
委 員	遠 藤	か ず み
委 員	南 部	博 明

学 校 教 育 部 長	住 吉	功 成
学 校 教 育 課 長	戸 沼	貴 志
指 導 室 長	石 原	学
学 校 給 食 課 長	是 廣	敏 明
子 ど も 課 長	小 野	直 樹
文 化 ・ ス ポ ー ツ 振 興 課 長	高 居	眞 司
生 涯 学 習 推 進 課 長	平 井	文 朗
緑 陵 高 等 学 校 事 務 長	廣 田	康 裕
事 務 局 学 校 教 育 課 総 務 係 長	豊 岡	義 隆
事 務 局 学 校 教 育 課 総 務 係	城	茉 代

午前10時00分 開会

○吉永教育長 それでは、ただ今から令和5年第12回教育委員会定例会を開催いたします。

本日の署名委員につきましては、南部委員さんをお願いいたします。よろしく申し上げます。

それでは初めに、日程番号1、報告第18号 教育長の一般経過報告について 私のほうから説明をさせていただきます。

先月11月11日から12月8日までの間です。

11月11日、「みんなで教育を考える日」というのがありまして、これ毎年行われているものです。いわなびで今年度行いましたが、教育大学の岩見沢校の酒井准教授が講演をなさっていました。ミツバチ・プロジェクトに参加して、元は建築家の方のようですが、まちづくりという観点でお話をしていました。

それから、12日、日曜日ですが、裏千家のお茶会がありました。

あと、13日以降見ていただいて、そのような大会等々あり、18日の土曜日、教育委員さんたちも参加していただきましたが、校長会の研修、研究旅行、研究視察に行きました。

で、日曜日ですが、太鼓連盟の太鼓発表会がありました。

20日、教育委員会の新任委員研修会ということで、Zoom会議で、北海道の教育委員及び、教育長の研修がありました。

21日に教育委員の田中委員さんに委嘱交付がなされました。

あと、学校視察等々があったと思います。

25、26日の土日に教育行政のトップリーダーセミナーというのにちょっと参加して、兵庫教育大学のセミナーでしたが、勉強しにいってきました。

27日、月曜日ですが、岩見沢市職員の採用試験、面接に行ってきました。

あと、28日、29日は書いてあるとおりです。

12月に入って、土日に医師会の忘年会とか、ママさんバレーがあり、4日から市議会の4定が始まりました。

8日までのことが書いてありますが、一般質問があり、15日で4定が終わったという形になっています。

今の説明について、何か皆さんからご意見とか、ご質問ありますか。

(「なし」という声あり)

○吉永教育長 よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○吉永教育長 なければ、本報告については終了させていただきます。

続きまして、日程番号2、協議10 令和6年度教育委員会関係予算見積り状況について を審議いたします。説明をお願いいたします。

○住吉学校教育部長 それでは、私のほうから令和6年度予算編成にかかる教育委員会関係の予算要望の概要につきまして、ご説明いたします。

令和6年度予算編成方針では、大きく三つの方針が示されております。

一つ目は、物価高騰など、直面する課題への対応に留意するとともに、社会の変容に適応した、地域経済の力強い回復と好循環に向けた取組を推進すること。

二つ目は、「第6期総合計画」に掲げる将来の都市像の実現に向け、短期的な課題への対応と中長期的視点を併せ持った市政運営のさらなるレベルアップを図ること。

三つ目は、デジタル技術を活用し、市民生活の利便性の向上と地域経済の活性化、行政事務の効率化を図るなど、地方創生の取組を加速化・深化させるとともに、持続可能で自立した地域経営を目指すということでございます。

これらを踏まえた、教育委員会の予算見積額につきましては、資料2-1から資料2-5にかけて、事務事業ごとの金額をお示ししてございます。

資料2-4の一番下の合計欄をご覧くださいいただければと思います。

令和6年度一般会計予算は、事業費ベースで76億9,000万円、令和5年度の当初予算額61億6,200万円と比較して、15億2,800万円の増となっており、一般財源ベースでは、今年度と比較して5億9,600万円、17.2%の増という状況でございます。

一般財源の大幅な増加の要因につきましては、原油価格や物価高騰による影響のほか、学校・児童館等へのエアコン整備にかかる増が大きな一因となっております。

先日開催されました庁議では、一般会計当初予算の要求ベースで38億7,000万円の収支不足の状況にあると報告されたところでございまして、例年のことではありますが、今後、企画財政部長とのヒアリング及び市長ヒアリングにおいて、厳しい査定が行われると予想されているところでございます。

この後、各課長から主要事業についてご説明いたします。

○戸沼学校教育課長 それでは、学校教育課の予算見積りについて、ご説明をいたします。

令和6年度における学校教育課の事業につきましては、資料番号でいきますと、17と18、資料3-1、3-2にあるとおり、学教1から22までの事業がございまして、そのうち、学教7の通学区域審議会運営事業、これを除く21事業を予定しております。

全21事業の事業費総額は、24億3,727万5,000円となりまして、令和5年度と比較いたしますと、11億7,795万6,000円の増となっております。

そこで主な事業について、申し上げますが、資料1の1ページをご覧くださいと思います。

まず学教4、ICT教育推進事業になりますが、児童生徒1人1台端末を活用した授業づくり向けまして、ICT教育に必要な環境整備や教員のICTスキルの向上を推進することを目的として、タブレット端末の維持管理、教育用ネットワークの保守管理、教員向け情報セキュリティ研修の実施などにと取り組むため、9,360万3,000円を計

上しております。

続いて、学教10及び15の学校管理事業についてです。

本事業は児童生徒への教育効果を高めるため、小中学校における教育環境の充実を図ることを目的といたしまして、学校運営における光熱水費や燃料費、各種委託料などの基本的な経費のほか、学校図書館用図書、教材教具、学校設備品の整備などの経費を予算化しているところです。小中学校合わせまして、6億5万7,000円を計上したところでございます。

前年度と比較しますと、4,500万円ほどの予算増となっておりますが、主に小学校の教科書改訂に伴う指導書の整備によるものとなっております。

次に、学教11、スクールバス運行管理事業です。

本事業は遠距離通学児童生徒の送迎に係る安全な運行管理を行うものですが、次年度は中型のスクールバス1台を新規に購入予定のため、2,300万円ほどの予算増となっております。

続いて、学教12及び16の就学援助事業についてです。

本事業は生活保護世帯及び、それに準じて就学が困難と認められる世帯に対しまして、学用品費等の援助を行う事業になりますが、令和2年度から継続要望となっているクラブ活動費の援助項目への追加も含めて、総額で5,132万5,000円を計上しております。

続いて、学教19、学校教育施設空調設備整備事業についてです。

この事業は小中学校の普通教室などにエアコンを設置し、教育環境の充実を図るものになりますが、小学校は7月末、中学校は年度末までを目途として、設置を進めるための予算として、10億8,870万円を計上しております。

最後に、学教21及び22の校舎等管理事業です。

この事業は小中学校の施設・設備の維持管理や計画的な整備を行うものになりますが、主な事業として、北村小学校屋上防水・外壁改修のほか、豊中学校ガラスブロック壁修繕を予定しております。総額で3億4,194万5,000円を計上しております。

学校教育課は以上でございます。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○石原指導室長 続きまして、指導室について、ご説明いたします。

今見ていただいている、右上7ページ、資料1-2、指導室をご覧ください。

指導室は指導1から指導9までの事業を予定しております。ここでは四つ事業を説明いたします。

初めに、指導3、特別支援教育推進事業です。

この事業は障害のある児童生徒及び特別な教育的配慮を必要とする子どもに対して、適切な就学指導及び必要な支援を行うこと、また幼児ことばの教室の運営に関わる事業でございます。

令和6年度につきましては、特に特別支援教育支援員を現在の28名から1名増員し、29名配置することを目指しており、予算要求額につきましては、5,394万7,000円を計上してございます。

次に、指導の5、コミュニティ・スクール推進事業です。

この事業は学校・家庭・地域が目指す子ども像などを共有し、コミュニティ・エリアの活動を推進する事業です。

令和6年度は、本事業にここでは記載はございませんが、本年度まで指導2、学び・心はぐくむ学校活動支援事業の一部として、実施してきた地域ボランティアに係る事業の内容、予算を移行した形で統合し、計画をしております。

よって、令和6年度の予算要求額につきましては、534万2,000円を計上しております。

次に、次のページに進みまして、指導7、教育支援センター事業です。

この事業ははじめや不登校への対応をはじめ、悩みや不安を抱える子ども、保護者、学校に必要な教育的支援を行うため、教育支援コーディネーター1名、スクールソーシャルワーカー2名、特別教育専門員1名の4名体制で今年度同様に教育支援センターを運営する事業です。

また、不登校児童生徒へのきめ細かな指導のために、登校支援室みらいわの運営も本事業の一つに位置づけて、計画して実施してまいりたいと考えております。

よって、予算要求額につきましては、2,005万7,000円を計上しております。

次に、その下、指導8、学力向上対策事業です。

この事業は子どもたちの確かな学力の定着を図るため、OKスタディや土曜キッズ英会話を実施し、基礎学力の向上や英語教育を推進するものです。

令和6年度は本事業に先ほどのコミュニティ・スクール推進事業と同様の考え方で、学び・心はぐくむ事業の一部として、実施してきた、学校ごとの教員研修を市の教育方針を踏まえて一定の方向で集約し、令和6年度につきましては学力向上の基盤づくりとして、市全体で全体的に行うピアサポート研修会に外部講師を招へいして、計画的に実施することや、AI等に関する活用研究を推進することで、子どもが安心して学べる環境づくりに努めてまいりたいと考えております。このことから512万4,000円を計上しております。

なお、本年度実施している学び・心はぐくむ事業につきましては、以上のように関連性が高い他事業に移行、集約して実施する計画であり、そのようなことから学び・心はぐくむ事業としての計上をしていないことを申し添えます。

以上でございます。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○是廣学校給食課長 学校給食課の予算見積りについて、ご説明いたします。

資料は引き続き、1-3をご覧ください。

初めに、給食1の学校給食共同調理場運営事業です。

この事業は共同調理所で市内の全小中学校へ提供する給食調理を行うものであり、全体事業費は6億6,393万7,000円となっております。

主な事業内容といたしましては、まず調理所の維持管理に係る費用ですが、調理や冷暖房用に使用する燃料費として、4,198万5,000円。機械動力殺菌保管庫用の電気や調理や洗浄に使用する水などの光熱水費として、6,151万1,000円。建物設備等の清掃及び点検手数料が548万1,000円。その他設備の維持管理に必要となる委託料といたしまして、3,602万3,000円を計上しております。

また、調理業務に係る経費といたしましては、委託料として、パン加工に2,469万2,000円。麺加工に788万4,000円。調理の委託業務に1億4,104万2,000円を計上しております。

なお、調理委託につきましては、令和4年度から8年度までの長期継続契約の3年目となっております。

次に、給食2の学校給食共同調理所車両運行管理事業です。

この事業は調理された給食を各学校に配送し、使用済みの食缶等を回収する配送車両の運行管理を行うもので、全体事業費は5,706万4,000円となっております。

主な事業内容といたしまして、学校給食配送等業務委託料が4,840万円。こちらも令和4年度から8年度までの長期継続契約の3年目となります。

また、備品購入といたしまして、老朽化した給食配送車につきまして、本年度契約済みで来春納車予定の1台分として、751万円を計上しております。

学校給食課は以上でございます。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○小野子ども課長 続きまして、子ども課の予算見積りについて、ご説明します。

子ども課の所管事業は15事業ありまして、全体で前年度より、1億6,246万3,000円増額し、26億1,529万6,000円を計上しました。

少子化が進行する中で、増額となりましたのは、国の人事院勧告による影響が大きく、120人程度いる会計年度任用職員の報酬を増額したこと、あと保育所等の運営委託料に保育士等の人件費増額分を反映したことなどが主な理由となっております。

次に資料1-4をご覧ください。

主な事業ごとの説明になります。

子ども1の子ども・子育て支援事業では、産前産後ヘルパーやファミリーサポートセンターなど、子育て支援サービスを提供し、その進行を管理するため、子ども・子育て会議を運営するとともに、次期子ども・子育てプランの策定にも取り組むため、2,194万円を計上しました。

子ども2の子育て総合支援センター事業では、子育て総合支援センターを運営し、子育てに関する相談支援や、親子の交流行事を行うとともに、児童相談所や保健センター等と

の連携により、虐待対応や発達支援も含めた総合的な子育て支援を行うため、2,575万8,000円を計上しました。

子ども3のあそびの広場運営事業では、市内外の親子に多く利用されているあそびの広場を運営するため、3,240万9,000円を計上しました。

子ども7の留守家庭児童対策事業では、放課後児童クラブ20か所を運営し、留守家庭の子育てと仕事の両立を支援するため、1億3,447万6,000円を計上しました。

子ども8の保育所入所運営事業では、法人立の保育所の運営費を負担するとともに、延長保育や一時預かりなどの特別保育を実施するため、16億499万5,000円を計上しました。

子ども12の幼稚園入所運営事業では、幼稚園等に運営費を交付するため、4億9,662万9,000円を計上しました。

以上です。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○廣田緑陵高等学校事務長 それでは、緑陵高等学校の予算見積りについて、ご説明いたします。

資料1-4でございます。

初めに、緑陵1、学校管理事業です。

地域社会のニーズに応えるとともに、次代を担う人材を育成するための教育活動の推進、教育諸条件の整備、学校経営組織の適切な運営及び施設整備についての効率的な管理に努め、生徒の学力向上等の充実を図ることを目的としており、6億2,580万9,000円を計上いたしました。

前年度と比較しまして、3,822万8,000円の増となっておりますが、普通教室18室等のエアコン設置に伴う修繕料の増、及び人事院勧告に伴う人件費の増が主な要因でございます。

次に、緑陵2、教材教具整備事業です。

教育環境の維持と特色ある教育活動を円滑に実施するため、必要な教材教具の整備を目的としておりまして、2,585万1,000円を計上いたしました。

前年度と比較しまして、22万3,000円の減となっております。厳しい財政状況を踏まえ、消耗品等を減額したものでございます。

以上でございます。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○高居文化・スポーツ振興課長 ここから生涯教育部の予算編成内容についてでございます。

生涯教育部につきましては、先ほど冒頭、学校教育部長が申しあげましたとおり、予算編成方針、三つの柱でもございました総合計画による将来像の実現、また教育大綱、これを目指すといったことを念頭に置きまして、環境づくり、人づくり、まちづくり、つなが

りづくり、こういったつくりの四点を留意しながら予算編成を進めたところでございます。

文化・スポーツ振興課所管の事務事業としましては、合計16の事業でございます。この中でも主な事業について、ご説明をしたいと思います。

資料については、引き続き、1-4でございます。

まず、健康・スポーツ振興事業でございます。

これにつきましては、全国ですとか、北海道大会の開催補助をはじめ、全国大会の出場や指定強化選手に対する支援といったスポーツ活動への奨励、それと、ウォーキングですとか、スポーツ教室事業の開催、また障害者スポーツの推進に係る事業としまして、1億1,111万6,000円。前年比較としましては、433万5,000円減という形で要求をしてございます。

続きまして、次のページになります。

文ス2~13でございます。

こちらにつきましては、当課については、スポーツ、文化施設が数多いものですから、一まとめに整理をさせていただきます。

文化、スポーツに係る施設管理にかかる予算要求額としましては、4億8,568万1,000円となっております。大きな増減のあるものについてのみ、ご報告をさせていただきますが、まず体育施設管理につきましては、721万6,000円の増となっており、主な内容としましては、今年度末で廃止を予定しております、北村野球場の除却に要する経費でございます。

続いて、スポーツセンター・岩見沢トレーニングセンターでございます。これについては、910万5,000円の減となっております。向こう5年間新たに委託契約、指定管理委託料の減額分ということになってございます。

続いて、東山・岡山地区スポーツ施設では1億9,300万ほどの増額となっております。来年度につきましては東山公園テニスコート、これの改修工事を予定してございます。

続いて、栗沢スポーツ公園につきましては、今年度栗沢B&Gプールの改修を行ってございまして、これについては新年度はないという形ですので、減額になっております。

続いて、社会教育施設になりますが、社会教育施設管理、これにつきましては、今年度旧栗沢文化センター、こちら除却が進み、整地も終わって、これに係る減という形になってございます。

次に、市民会館文化センター、これについては3億6,200万円ほど増額となっております。9月に契約はもう済ませているんですが、市民会館側の空調設備、これを開館以来初めて大規模改修といったことでの経費増となっております。

続いて、文スの14、地域文化振興事業でございます。

これにつきましては、「キタオン」ですとか、「まなみーる」での文化鑑賞事業に加えまして、R7年度に開催は予定しているんですが、公募型の絵画大賞展、これについては、

今年初めて芸術文化・スポーツの祭典事業で、第1回を開催したところでございますが、まちの特色を生かした定着を図りたいという思いから、引き続き開催をしていきたいと考えてございます。

また市民の文化祭ですが、これについても、子どもの文化祭と二本立てといった形で今までやってきてございますが、子どもの数も少なくなってきたといったところの背景もあって、学校関係、そして文化連盟と調整しながら、一体的な開催といったところで調整してございます。

このほか、全国大会出場に対する支援、そういったまちの特色を生かした取組を行うとしまして、1, 193万7, 000円を計上してございます。

昨年度、今年度と比較して、600万ほど増額となっておりますが、もう一つ、今年度まで文化のまちづくり事業といったものがございまして、これについては事業廃止をして、一部実施、引き続き行いたい事業については、この事業に再編整理といった形で予算要求を予定してございましたので、実質120万ほど減額という内容になってございます。

文化・スポーツ振興課は以上になります。

○吉永教育長 ありがとうございます。

○平井生涯学習推進課長 生涯学習推進課の予算の見積りにつきまして、ご説明させていただきます。

引き続き、資料1-5をご覧くださいと思います。

生涯学習推進課の予算は九つの事業を計画しておりまして、その中から三つの事業について、説明をさせていただきます。

生涯2、市民の学び支援事業でございます。

生涯学習センターを拠点として、子どもから高齢者まで幅広い世代へ学習機会の充実を図る事業といたしまして、「いわみざわ市民大学」や「いわみざわチャレンジスクール」などのほか、生涯学習情報の提供など、市民の学習活動に対する支援の予算としまして、936万3, 000円を計上しております。

次に、生涯6、岩見沢郷土科学館管理事業でございます。

科学、創作、天体、自然などに関する学習機会を提供するほか、郷土資料の収集・保存・展示を行います。引き続き、岩見沢、北村、栗沢地域の資料や展示物の集約を進めるほか、郷土科学館の維持管理費用といたしまして、2, 576万7, 000円を計上しております。

次に、生涯8、芸術文化・スポーツ交流創出事業でございます。

平成31年3月末に閉校いたしました旧美流渡中学校につきまして、美流渡地区の地域特性を生かし、校舎の機能や設備の利活用を進め、芸術文化、スポーツの交流拠点創出を目指しております。

令和6年度は建築物の用途を学校から展示場へ変更する準備といたしまして、工事の設計委託料450万円を新たに計上いたしまして、総額779万1, 000円を計上してお

ります。

生涯学習推進課の説明は以上でございますが、続きまして、図書館のほうの予算について、説明させていただきます。

次の資料1-6をご覧ください。

図書館につきましては、四つの事業を計画しておりまして、そのうち、二つの事業について、説明させていただきます。

初めに、図書1、図書館活動運営事業でございます。

図書資料の収集・管理と利便性の高いサービスの提供をし、子ども読書活動の推進と幅広い世代に対する読書普及活動を実施するとともに、快適で安心して利用できるよう施設の計画的な整備を図ってまいりたいと考えておりまして、9,706万円を予算計上したところでございます。

次に、図書4、ブックスタート事業でございます。

乳幼児期から親子で本に親しむ、家族そろって読書習慣づくりを進める事業といたしまして、123万2,000円の予算を計上しております。財源につきましては、橋本育英福祉基金を財源といたしまして、赤ちゃんと保護者、340組を対象にブックスタート・パックを贈るとともに、成長段階に応じたフォローアップ事業の充実を図ってまいりたいと考えております。

図書館については以上でございます。

○吉永教育長 ありがとうございます。

ただ今、協議10について、各課の課長さんから説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問等がありましたらお願いをいたします。

どうぞ、どこからでも構いません。

○南部委員 よろしいですか。

スクールバスを買い換える予定、また給食、配車ですか、給食の配送車の買換えを考えているみたいなのですが、参考までにこの耐用年数という、今まで使っていた車両は何年ぐらい使われたのか、もし分かるのであれば教えてください。

○戸沼学校教育課長 今手元に正確な数字持ってませんが、スクールバスについては、その破損状況だとかを踏まえて更新を考えるんですが、おおむね、長期間乗ってまして、大体10年とか、15年は乗るという感じです。

路線によって、走行距離がまた変わってきますので、その走行距離なんかも勘案しながら、車の傷み具合とかを含めて、検討しているという状況でございます。

○南部委員 今何台走っている。

○戸沼学校教育課長 18台です。

○南部委員 そのうちの1台を更新するみたいな。

○是廣学校給食課長 学校給食の配送車につきましては、全部で10台ございます。こちらでも今回ちょっと手元に何年車を更新するというものがないんですが、古いものでたしか

平成2年ぐらいに車両を今回更新するという形だったと記憶してございます。

こちら結構な距離乗ったりとか、使用頻度によってもいろいろと故障等も出てきますので、それを見計らいながら年度は前後するかもしれませんが、適切に更新をして、確実な配送につなげていきたいと考えております。

○南部委員 平成2年ということは32年ですか。

○是廣学校給食課長 12年だったかな。

○南部委員 12年でも20数年ですよ。予算のこともあるんであれなんですけど、古くなればなるほど、やっぱり修理費もかかりますし、計画的にやっぱり一般、民間では大体そういう目標して、計画的に負担が平準化になるようにやっていくものですから、これが駄目という意味じゃなくて、ちょっと参考までに何年ぐらいのサイクルで考えられているのかなと思って、ちょっと質問させていただきました。

以上です。

○戸沼学校教育課長 参考までに、追加での説明ですが、スクールバスも給食の配送車も計画的な更新ということを考えながら進めてはいるんですが、予算的に厳しく、来年度も、スクールバス2台を更新したかったんですが、1台にとどまった。

ただ、いずれにしても、教育委員会として計画的に対応しているというのが実態でございます。

○南部委員 1年に1台更新しても18台あるということで18年かかる。だから、予算的に、予算は厳しいので定期的にやられたほうがよろしいかと思えます。

○吉永教育長 ほかございますか。

○菊池委員 指導5のコミュニティ・スクールのところで、地域ボランティアの分が増ということで、学び・心はぐくむ活動支援事業のところ、指導5のほうに増えたのと、指導8で学校ごとの講師分が増えたということだったんですが、去年の予算の分と比較すると240万ぐらい多分少なく、合わせても少ないのかなと思うんですが、ほかにどこか分散しているものがあるのかどうか、教えていただけますか。

○石原指導室長 菊池委員のご指摘のとおりでございます。実質減額という予算でございまして、そのほかに分散しているものはございません。

○菊池委員 足りるのでしょうか。

○石原指導室長 効率的な予算執行に努めてまいります。

○菊池委員 はい。分かりました。

○吉永教育長 ほかございますか。

○遠藤委員 学教の4、ICT教育推進事業、主な事業でタブレット端末の維持管理とかもありますが、今1台につき、維持管理費といいますか、どれぐらいかかるのかとか、そういうのがあるのか。大型ディスプレイもそうですが、こういった維持管理、具体的にどういたしますか、教えていただきたいなと思うんですが。

○戸沼学校教育課長 1台当たり幾らかということについては、今ちょっと数字的に申し

上げられないんですが、いずれにしても、タブレット端末、大型掲示装置などもリース契約ということをしておりまして、5年間のリースで執行しています。

それで、仮にリース料以外に何かかかるとすれば、例えば子どもが落として壊してしまったとか、そういうようなことが想定されるんですが、それは1台につき、2回分、保険対応として、賄うことにはなっているんですが、昨今の社会情勢で当初想定していた修理金額を超えてしまうような状況がありまして、そのオーバーする部分について、どう対応するかというのは一つの課題にはなっています。まだ保険の中で何とかやりくりしているんですが、年数を経過することによって、保険でカバーできない部分が多分出てくると思いますので、それについては改めて検討しなきゃならないと考えているところです。

○遠藤委員 ありがとうございます。

○吉永教育長 ほかありますか。

よろしいですか。

では、この件について、ご異議がなければ、今のようなことで進めていただいてもということでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○吉永教育長 では、よろしく願いいたします。

続きまして、日程番号3、協議11 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について 審議をいたします。説明をお願いします。

○石原指導室長 ご説明させていただきます。

右上、資料番号は27ページからとなります。

協議事項11 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について でございます。

資料27をご覧ください。27にございますように、令和5年11月27日付で道教委教育長名の文書にて、照会がございました。

国の実施要綱において、都道府県教育委員会は市町村別教育委員会の同意を得た場合には当該市町村名を明らかにした公表を行うことができるとされております。これを受けて、今年度においても、道教委として、市町村別の同意を前提として、「北海道版結果報告書」に市町村別の結果を公表することとし、岩見沢市教育委員会に対しても、同様の同意を求めてきたものでございます。

岩見沢市の調査結果につきましては、今後文部科学省から11月中には結果が届き、例年どおり、教育研究所で分析を行い、改善方策も含めて、教育委員会にお諮りした上で、教育委員会ホームページにより、公表してまいりたいと考えております。

資料の28ページ以降には同意書がございます。さらに、29ページからは道調査結果の実施要綱となっております。

市町村別結果の掲載について、ご討議をよろしく願いいたします。

○吉永教育長 ありがとうございます。

ただ今、協議11についての説明がありました。委員の皆様からご意見、ご質問がありましたらよろしくお願ひします。

ありませんか。

(「なし」という声あり)

○吉永教育長 は、この件について異議がなければこのようなことで決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

○吉永教育長 ありがとうございます。

それではよろしくお願ひいたします。

続きまして、その他に移ります。委員の皆様から何かございますか。

ありませんか。

(「はい」という声あり)

○吉永教育長 特になければ、事務局のほうから何かありませんか。

大丈夫ですか。

○高居文化・スポーツ振興課長 お知らせとご報告でございます。資料はございません。

かねてから開催してございました、周年記念を契機とした芸術文化・スポーツの祭典でございますが、おおむね年内をもって、当初41の事業、これが雨天により、中止になったものもありまして、実質39の事業が年内をもって、ほぼ終了するということでございます。

あと、残りは23日に教育大学において北海道内で唯一の女子Vリーグチームアルテミス北海道が講師となって、160人ほどの小学生のバレーボールチームが一堂に会しての教室を予定しているのと。また同日になってしまいますが、岩見沢駅2階の有明交流プラザのセンターホールで、これも教育大学の男性混声コンサート、これをちょうど日程ちょっとかぶってしまったのですが、これをもって、終了となるということでございます。

今現時点で、終了したイベントにおいていただいた数は2万4,986名ということで、これが多いのか少ないのか何とも分からないところではありますが、次回の参考値になるかなと思っております。

報告につきましては以上になります。

○吉永教育長 というものが開催されるということです。

あと、あれですよ。昨日も総合教育会議の中でもちょっとお話をしていたんですが、部活の地域移行化に関して、議会の答弁でもちょっと話をしたんですが、協議会のようなものを発足し、教育大学、関係機関を集めながら、スポーツ、文化、芸術のまちづくりに向けた協議会を発足のほうもよろしくお願ひしたいと思ひます。

あと、事務局のほうから何かありませんか。

いいですか。

では、なければ、来月の定例会の日程についてになりますが、1月17日が第3水曜日となっております。委員の皆様のご都合はどうでしょうか。よろしいですか。

(「はい」という声あり)

○吉永教育長 では、1月17日午前10時から、この場所、であえーる4階の会議室1で行います。

以上をもちまして、第12回教育委員会定例会を終了いたします。どうもお疲れさまでした。

午前10時45分 閉会

岩見沢市教育委員会会議規則第15条の規定により、ここに署名する。

署名委員